

特殊肥料入り

指定混合肥料

作業が“らく”になる！
軽量 15kg

水田の地力
向上に特化

いね

稲サホ

ケイ酸・
マンガンを
プラス

水稻向け総合土壌改良資材

リンサン・
カリを
強化

牛ふん
堆肥入り

堆肥
使用割合

約 **30%**

乾物換算値

国内資源
使用割合

約 **70%**

牛ふん堆肥・鶏ふん燃焼灰・米ぬか

成分例(%)

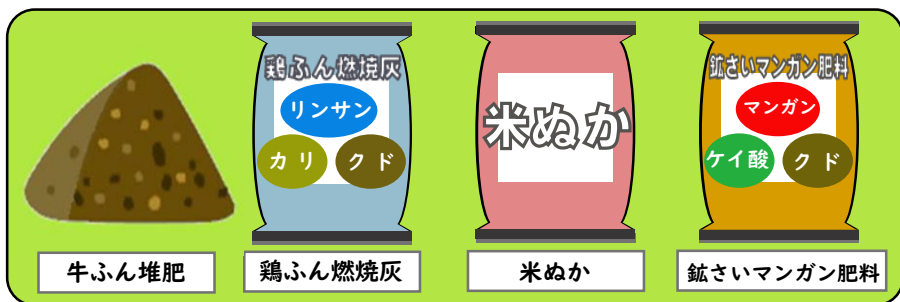
形状:ペレット

チツソ	リンサン	カリ	マグネシウム	マンガン	ケイ酸
0.8	7.0	6.0	3.0	3.0	8.0



朝日アグリア株式会社

水稲向け総合土壌改良資材-稲サポ-



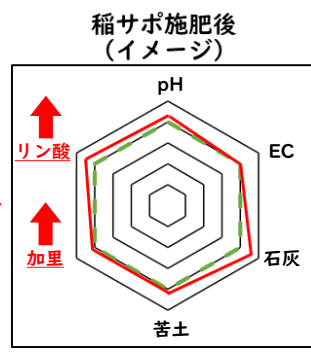
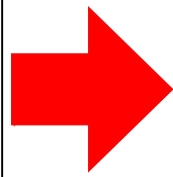
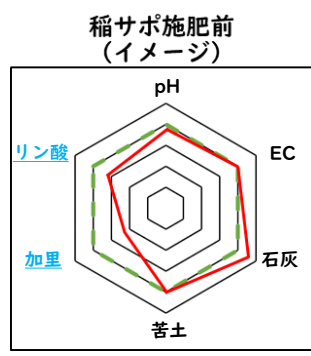
=



※稲サポは、牛ふん堆肥、鶏ふん燃焼灰、米ぬか、鉱さいマンガン肥料を混合し、ペレット状に造粒した**特殊肥料入り指定混合肥料**です。

一発肥料の補助資材として

○高チッソー発肥料の普及に伴い、**不足しがちなリンサン・カリ**を補給！



稲サポ 施用で根張り向上 !!

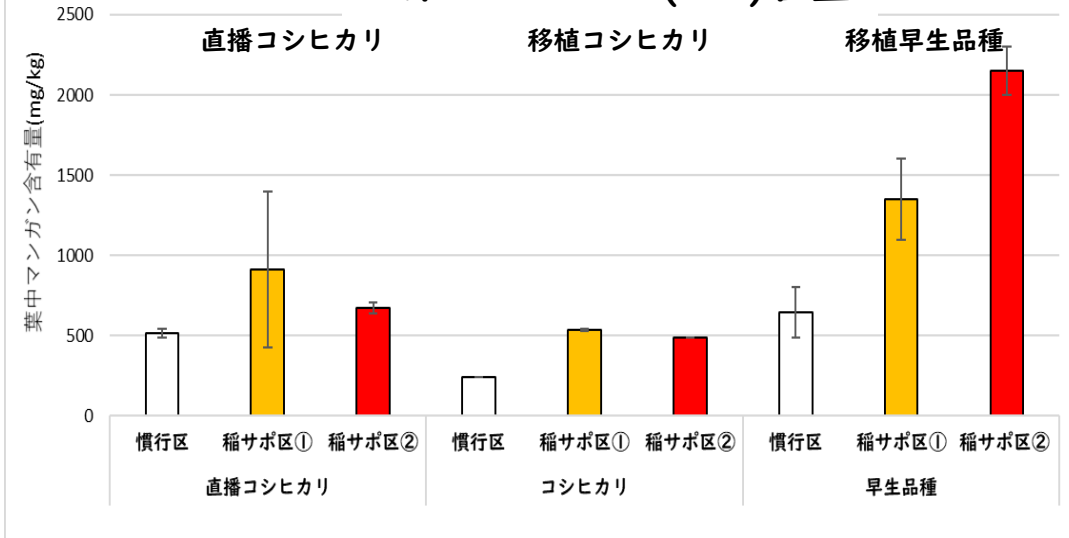


○2021年度 茨城県
 慣行区：土壌改良資材無施用 試験区：稲サポ 75kg/10a 施用

ごま葉枯病対策に!!

2022年 新潟県

止葉のマンガン(Mn)含量



慣行区：鶏ふん堆肥 + ケイカル

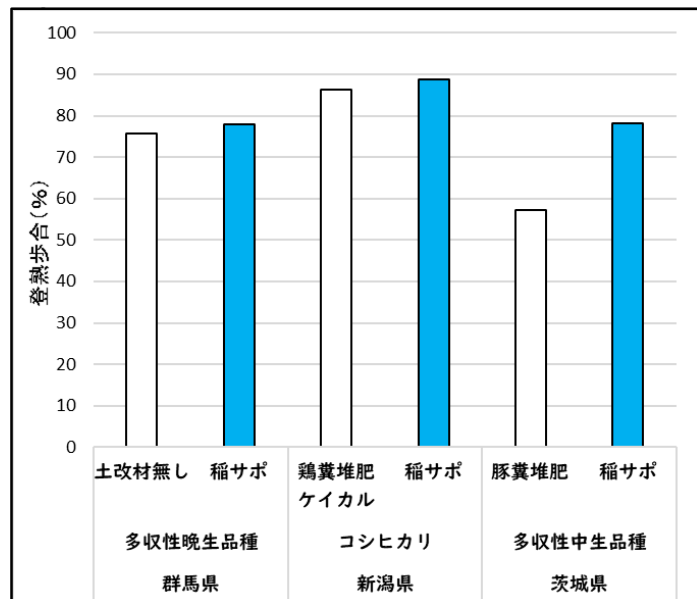
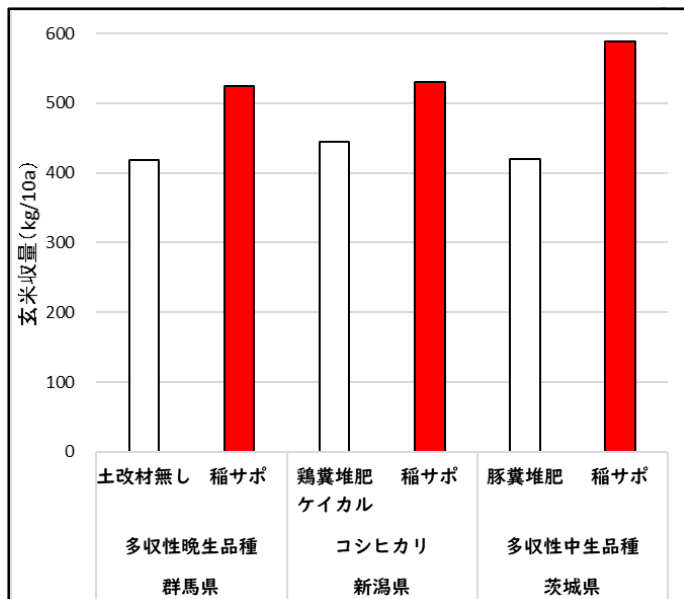
稲サポ区：① 150kg/10a ② 250kg/10a

※ごま葉枯病多発圃場のため、施肥量を増量

写真：灰化した止葉
(移植早生品種)
右：マンガン含量

稲サポ施用で、秋落ち、ごま葉枯病対策で必要とされるマンガン量が葉内で増加。

安定した収量を確保!!



玄米収量 (kg/10a)

登熟歩合 (%)

○収量構成要素調査 (稲サポ施肥量)

群馬県 (60kg/10a) 新潟県 (150kg/10a) 茨城県 (75kg/10a)

稲サポ施用により収量の安定につながったと考えられる。

稲サポのメリット

- ①土づくり効果の高い牛ふん堆肥を配合
- ②高チッソー発肥料の普及による、リンサン、カリ不足を補助
- ③マンガンで秋落ち、ごま葉枯病の軽減に期待
- ④ケイ酸でイネを強く、健全に
- ⑤「牛ふん堆肥」「リンサン」「カリ」「微量元素」「ケイ酸資材」が1粒化 機械散布も可能

稲サポのおすすめの使い方



田起こし、代かき前の春に！

稲わらすき込みの秋に！

ペレット状で
散布を省力！！

稲サポ100kgで

牛ふん堆肥 60kg

※一般的な牛ふん堆肥に含まれる水分を50%とした場合

リン酸 7kg

カリ 6kg

クド 3kg

マンガン 3kg

ケイ酸 8kg

相当を施肥できます！

2021年10月 千葉県にて撮影

施肥基準量 (10アール当り)

水稻

45kg(3袋)～105kg(7袋)

※これは基準量ですので、土壌、前作、作型、地域の気象条件等により、施肥量を増減してください。

施肥のポイント

田植えの3週間以上前によく土と混合しておくのがコツです。

●詳しい使い方については最寄りのJAにご相談ください。

朝日アグリ
ホームページ

